



三笠市



三笠市萱野のりんご畑でのオーチャード・テーブル

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## 三笠地域における「農」と「食」の連携推進協議会

### 【三笠市】

地域資源を活かした農泊を拠点に地域活性化

#### はじめは？

代表の鈴木氏は、三笠市萱野で農業をしながら、札幌市内で有機野菜の八百屋を運営しています。三笠地域以外の人々との交流を通して、外からの視点で地域を見ると、これまでと違った魅力があることに気付きました。「農」と「食」の視点から、三笠地域には面白い地域資源が多いことに着目し、仲間たちと地域活性化の構想を練ってきました。平成29年1月に協議会を設立し、活動の拠点となる農泊施設を整備し、農業体験やエコツアーなど多様な地域資源と連携することで、地域に人を呼び込み、滞在・時間消費してもらうことを目指します。

#### おもな活動

これまでの2年間は、「農」と「食」をテーマに水田やりんご畑での農作業体験を組み合わせた畑のレストラン「オーチャード・テーブル」やグランピング「一夜限りのオーベルジュ萱野駅」などのイベントを開催しました。札幌では、三笠産の野菜や果物を使用した「料理教室」や「お菓子教室」、「みそ作り」などを開催し、活動拠点の「すずき農園」では、プロジェクトのシンボルにりんごの栽培を始めました。ゆくゆくはシードル製造を目指しています。また、都市と農村を結ぶ拠点として2019年オープン予定の農泊施設建設に着手しました。



イベントを楽しむ参加者

#### ここが自慢

##### 【三笠地域には面白い地域資源が盛り沢山】

人口や産業の盛衰を経た三笠地域には、炭鉱遺跡や北海道最古の鉄道である幌内線跡、アンモナイトなど太古の地層や化石が見られるジオパーク、桂沢湖などの自然資源、野菜・果実などの農産物や近年注目されているワイナリーやヴィンヤードなど食材の資源も豊富です。また、「高校生レストラン」で有名な北海道三笠高等学校があり、地域の食産業への人材供給を可能とする環境もあることから、これらの地域資源と連携することで、限りない可能性が広がります。



三笠高校の生徒と一緒に資源発掘ツアーを実施

#### 連絡先

代表者名：鈴木秀利さん／設立：2017年／会員：12名

住所：三笠市萱野26番地

電話番号：011-863-9373（有機やさいアンの店）

FAX：011-863-9785

E-mail：anne-suzuki@pop06.odn.ne.jp

URL：<http://mikasa-kayano.com/>